



# 奈良県感染症情報

令和4年 第34週(8月22日～8月28日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.03	(1.79)	↘	↘	→	↓
2	手足口病	1.88	(1.29)	↑	↑	↑	↓
3	RSウイルス感染症	1.62	(3.15)	↓	↓	↓	↓
4	ヘルパンギーナ	0.41	(0.21)	↑	↑	↑	→
5	突発性発しん	0.26	(0.21)	→	↗	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

## ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第34週の新型コロナウイルス新規感染者数は18070名で先週から横ばい状況です。

新型コロナウイルス感染症の患者の検体について、当センターのゲノム解析結果により、オミクロン株の一種である、「BA.2.75系統」が県内患者の検体で初めて確認されました。オミクロン株「BA.2.75系統」に対する、感染防止対策や療養基準については、現在感染の主流であるオミクロン株「BA.5系統」と同様です。

## ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

RSウイルス感染症は減少しています。手足口病の報告が北部と中部で増加しています。集団生活が再開する場面も多くなりますので、感染予防のため、こまめな手洗いやうがいの方法について再度確認しましょう。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(田中小児科医院)

COVID-19感染症は減少傾向にはない。RSV感染症は減少したが、hMPV感染症が増加してきた。ただし迅速検査キットが手に入らないため確定診断が出来ない。

初期に発熱だけの手足口病があり、鑑別診断が必要になっている。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

COVID-19陽性例が持続、特に小児に多い。

症状は短期の高熱、咽頭痛、頭痛が多い。

咳嗽のひどい例や呼吸困難の例は今のところ見られない。

嘔吐を伴う感染性腸炎様の例もあった。

RS様例は減少。手足口病はなかった。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19感染症の流行が続いている。接触歴のない人でも陽性となり、無症状軽症者にも相当数陽性者がいると思われる。小児では高熱が多く、熱性けいれん、食物摂取困難による脱水症、クループの併発がみられた。

手足口病、アデノウイルス咽頭炎は減少してきた。RSウイルスの流行はまだみられている。胃腸炎も減少してきた。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 34 週 8 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	55 (1.62)	6 (0.67)	9 (1.00)	12 (1.71)	27 (4.50)	1 (0.33)	
咽頭結膜熱	2 (0.06)			1 (0.14)	1 (0.17)		
A群溶連菌咽頭炎	3 (0.09)	1 (0.11)	2 (0.22)				
感染性胃腸炎	69 (2.03)	12 (1.33)	22 (2.44)	8 (1.14)	27 (4.50)		
水痘							
手足口病	64 (1.88)	21 (2.33)	12 (1.33)	11 (1.57)	19 (3.17)	1 (0.33)	
伝染性紅斑							
突発性発しん	9 (0.26)	5 (0.56)	1 (0.11)		3 (0.50)		
ヘルパンギーナ	14 (0.41)	1 (0.11)	6 (0.67)		7 (1.17)		
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	2 (0.20)		1 (0.33)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市1、中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市1)
4類感染症	レジオネラ症1件(吉野1)
5類感染症	アメーバ赤痢3件(郡山1、中和2) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1) 侵袭性肺炎球菌感染症2件(奈良市1、吉野1) 梅毒3件(奈良市2、郡山1)

❖ 第34週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定(緊急避難措置)の概要及び必要な手続き等について  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000983482.pdf>

◆現下の感染状況を踏まえたオンライン診療等も活用した診療・検査医療機関の拡充・公表について  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000983078.pdf>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男																						2	8
	女																							
RSウイルス感染症	男	3	3	8	9	1	5																29	634
	女	4	3	9	8	1	1																26	535
咽頭結膜熱	男			1									1										1	112
	女																						1	79
A群溶連菌咽頭炎	男			1				1					1										2	90
	女																						1	72
感染性胃腸炎	男		3	3	7	4	1	4	1	4		2	4	2	3								38	2414
	女		2	5	4	2	5	1		1			1	1	9								31	2138
水痘	男																							26
	女																							30
手足口病	男			12	11	5	4	1	1														34	198
	女		1	15	7	3	2	2															30	145
伝染性紅斑	男																							4
	女																							2
突発性発しん	男		2	2	1																		5	194
	女		2	1	1																		4	147
ヘルパンギーナ	男		1	2		1		1					1										6	50
	女		1	4	2									1									8	38
流行性耳下腺炎	男								1														1	11
	女																						1	13
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男														1								1	44
	女																					1	1	19
細菌性髄膜炎	男																							
	女																							
無菌性髄膜炎	男																							2
	女																							
マイコプラズマ肺炎	男																							1
	女																							
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							
	女																							

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

